

## KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験前）

1. 名前、番号、所属、研究室名、
2. 学部、大学院での研究課題（具体的に決まっていない場合は希望する研究課題）
3. 大学院生の場合 卒業学部等
  - a. 同じ研究室
  - b. 同じ大学の違う研究室（卒論研究課題：  
）
  - c. 違う大学（卒論研究課題：  
）
4. この学生実験に参加した理由
  - a. 自ら希望して
  - b. 教官、先輩などに勧められて
  - c. 仕方が無く
  - d. その他（  
）
5. 放射線に関する知識は
  - a. 講義を受け、卒業研究等で利用している（or していた）
  - b. 講義を受け、ある程度知っている
  - c. 講義は受けたがよくわからない
  - d. わからない
6. 炉物理に関する知識は
  - a. 講義を受け、卒業研究等で研究している（or していた）
  - b. 講義を受け、ある程度知っている
  - c. 講義は受けたがよくわからない
  - d. わからない
7. この学生実験に期待すること（いくつでも）
  - a. 原子炉についての理解を深めたい
  - b. 炉物理についての理解を深めたい
  - c. 放射線についての理解を深めたい
  - d. 臨界について知りたい
  - e. 制御棒について知りたい
  - f. 中性子を測定してみたい
  - g. 原子炉を運転してみたい
  - h. ウラン燃料を触ってみたい
  - i. 原子炉の安全性について知りたい
  - j. 他大学の院生の人と交流をしたい
  - k. 単位が欲しい
  - l. 早く終わって欲しい
  - m. その他（なんでも結構です）

## KUCA大学院生実験参加者アンケート（実験後）

1. 名前（無記名でも結構です）

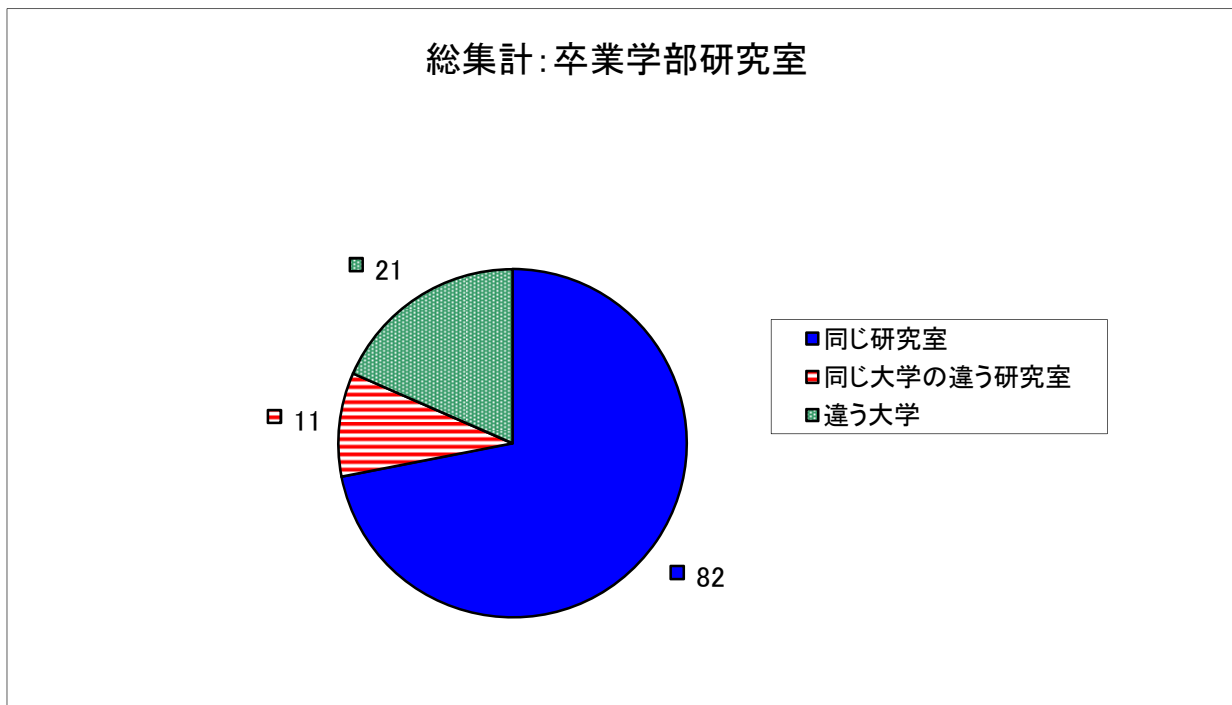
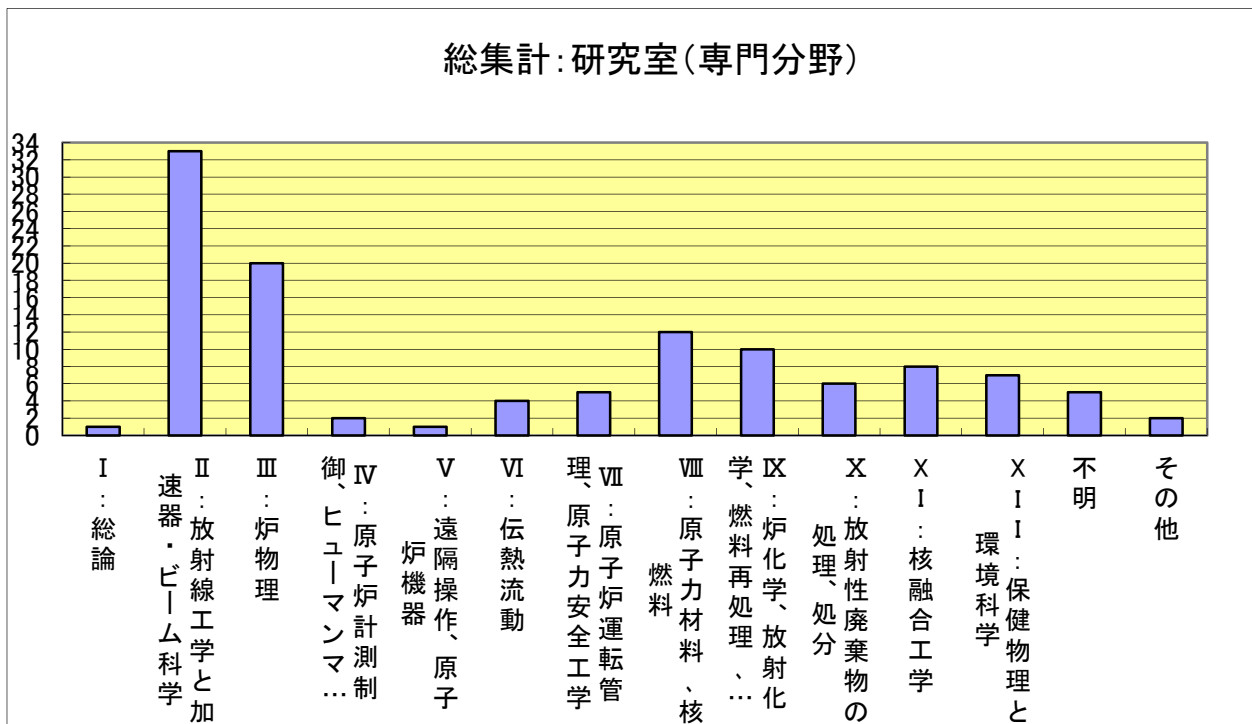
2. この原子炉基礎実験に参加して良かったこと（いくつでも）

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| a. 原子炉についての理解が深まった   | b. 炉物理についての理解が深まった |
| c. 放射線についての理解が深まった   | d. 臨界についてわかった      |
| e. 制御棒についてわかった       | f. 中性子の測定がわかった     |
| g. 原子炉を運転したこと        | h. ウラン燃料を触ったこと     |
| i. 原子炉の安全性についてわかった   | j. 他研究室の学生と交流したこと  |
| k. 単位がもらえそうなこと       | l. 思ったより早く終わったこと   |
| m. KUR でチェレンコフ光を見たこと | n. スクラムを見ることができたこと |
| o. その他（なんでも結構です）     |                    |

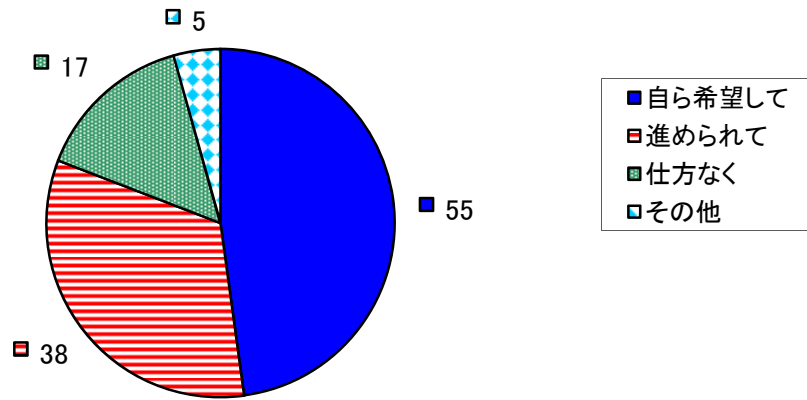
3. この原子炉基礎実験に参加して良くなかったこと（いくつでも）

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| a. 原子炉についてもっと知りたかった | b. 炉物理についてもっと知りたかった |
| c. 放射線についてもっと知りたかった | d. 臨界についてもっと知りたかった  |
| e. 制御棒についてもっと知りたかった | f. 中性子の測定をもっと知りたかった |
| g. 原子炉をもっと運転したかった   | h. ウラン燃料をもっと触りたかった  |
| i. 原子炉の安全性がわからなかった  | j. 他研究室の学生と交流したこと   |
| k. 興味がわかなかった        | l. 実験期間が長い          |
| m. その他（なんでも結構です）    |                     |

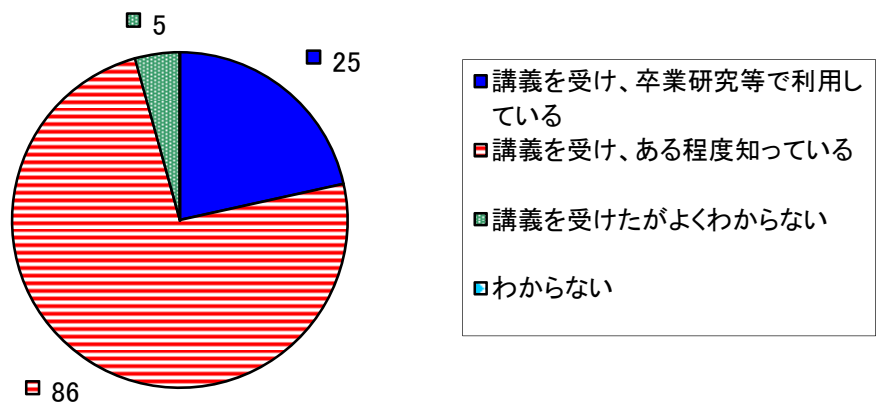
2013年度 KUCA大学院生実験  
 実験前アンケート結果(参加者:137名)



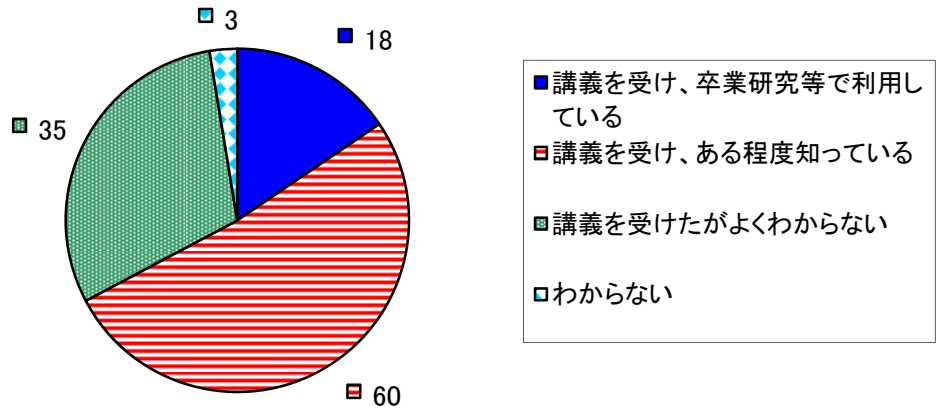
### 総集計:参加理由



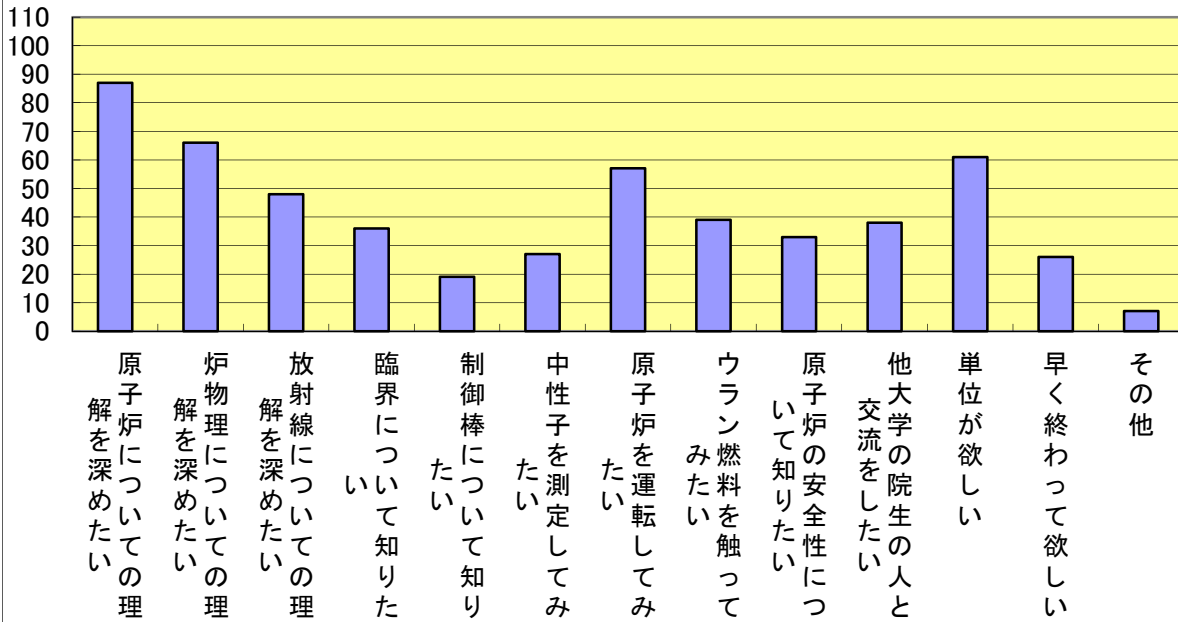
### 総集計:放射線について



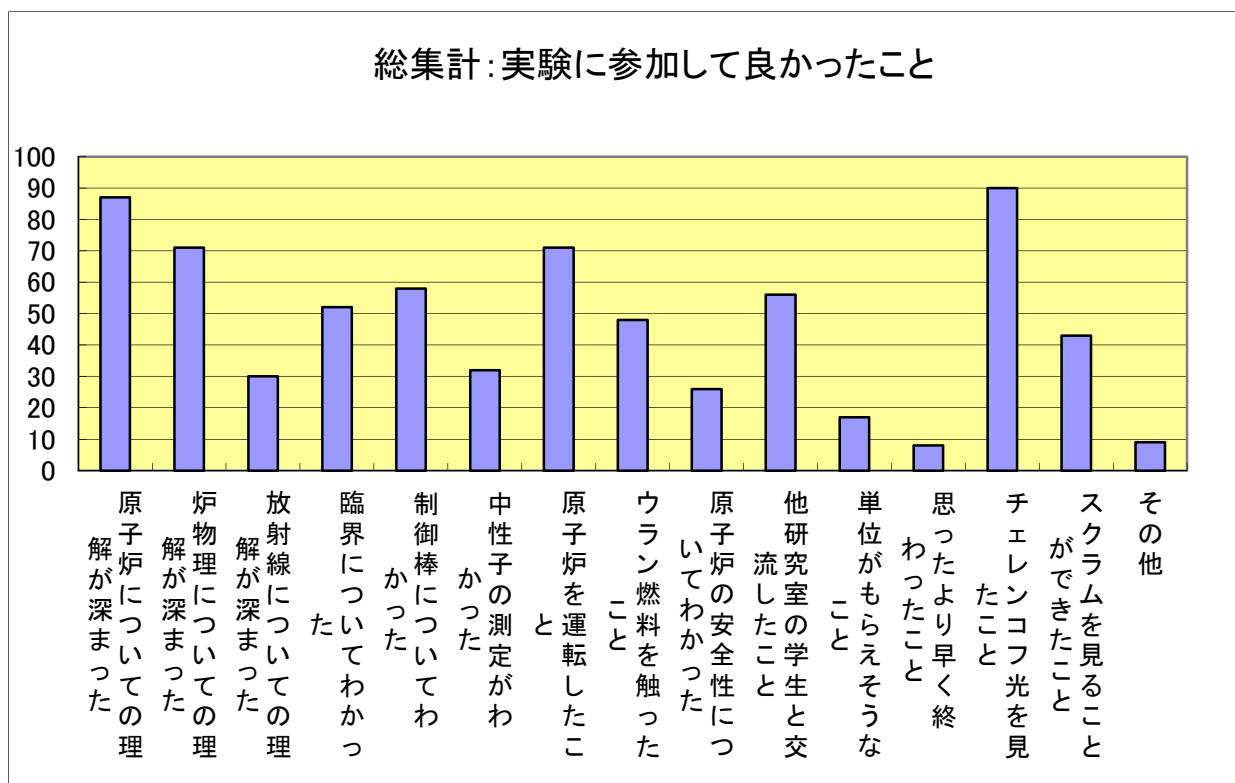
### 総集計: 炉物理について



### 総集計: 実験への期待



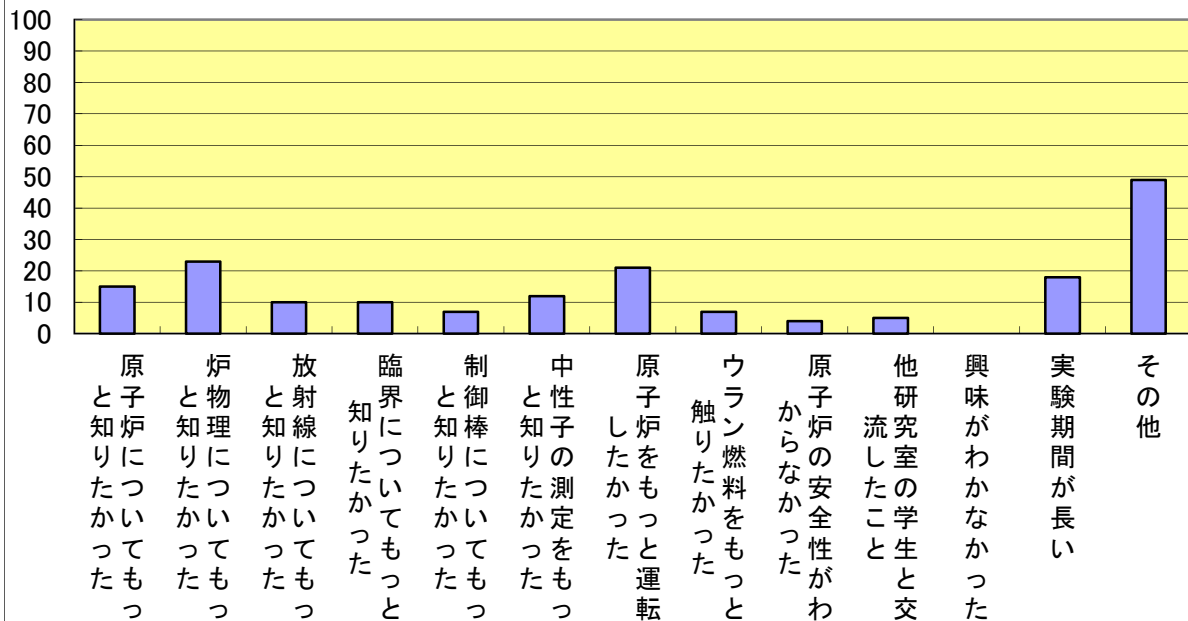
## 実験後アンケート結果(複数回答)



その他の項目:

原子炉出力の統計的なゆらぎを実感できた。  
 炉物理の専門ではなくても丁寧に教えていただき理解できた。  
 特に、制御棒を自分で動かし、臨界に調節したこと。  
 三澤先生に実習中に御話を聞いたこと。  
 我らが敬愛する橋爪先生の偉大さを他の大学院生にしらしめたこと。  
 めちゃくちゃ古い計算機見つけたこと。宿舎が意外快適だった。  
 金箔をさわられたこと。  
 炉物理って面白いかもと思えたこと。  
 全部  
 炉物理の難しさを知った。  
 (ウラン燃料を触ったことについて)重さの比べがとても良かったです。

## 総集計: 実験に参加して良くなかったこと



### その他の項目:

いくらなんでも時間が足りなさすぎて心残りでした。  
 話には聞いていたがやはりデータ整理、レポート作成の時間が圧倒的に足りなかった。  
 寝不足のせいで集中できないこともあったのでもう少し余裕が欲しい。  
 十分な時間がなく、体力的につらかった。  
 レポートを書く期間が短い。  
 初日でもう少し実験をやればまとめるのが楽になったかもしれない。  
 レポート作成に余裕がなかった。  
 レポート作成時間が短い。  
 レポートを作る時間、考察する時間があまりとれなかった。  
 時間が足りない(レポート)。睡眠時間が足りない。体調管理がしにくいスケジュール。  
 レポートを作成する期間がもう少し欲しかった。  
 宿舍の蚊が酷かった。(虫よけスプレーを備品として置いてほしい)  
 期間が短くハードで体力的にきつかった。しかしこのような期限付きのスケジュールを体験出来るのは貴重だと思う。  
 実験後半も天気は晴れれば良かったと思う。  
 レポートが徹夜じゃないと終わらないこと。もしくは夜おそく。  
 補足資料などは事前に配布して欲しかった。  
 レポートを書いたあとでデータがちがったと新たなデータをもってくるのはつらかった。  
 古いのも新しいのもどちらでもいいといっほしかった。  
 体調  
 レポートをやりすぎて肩こりになった  
 深夜までレポートをやるのは良い経験になったが原子炉物理に携わる方々は皆いつもこんな感じなのかと若干思っ  
 正直レポートがしんどかった  
 もう少し考察する時間が欲しい。結果の整理をある程度自動化して考察メインのレポートにしたかった。  
 理解はできたが、ハードルが高かった。実験期間が短い。  
 課題が多くて十分な検討ができない。USBメモリをなくしたこと。恐らく太りました。  
 お金がかかる(食費、宿泊費、交通費)  
 教科書を無料にして欲しい。  
 実験レポートが大変であった。量の割に時間が短く、十分な考察を行えなかったと言いたい所があった。  
 そのせいで、実験も満足に楽しめなかったところがある。  
 レポートを書くための時間が短い。データ整理等に時間がかかるため考察を書くころには疲れで頭が回らなくなる。  
 せめてあと一日時間があればと思った。  
 レポート作業時間が少ないこと。  
 データ整理の量が多い。テキストの誤字脱字が多い。テキストが定義なしに新しい用語が出てくる。  
 テキストに索引がほしい。テキストと実験が違う事をするのでレポートが書きにくい。惑わされる。  
 テキストの章ごとのつながりがわかりにくい。眠い。蚊が多い。宿舍は部屋に2人がいい。狭い。4人に机2つって。  
 理解を深める時間がなかった。  
 作業量と制限時間がつりあっていないこと。

タスクと時間の関係性がおかしいこと。

実験レポート(事後レポート)の提出のはやさ。

原子炉解析でなく実際の原子炉では直接中性子束を求めることができなく、炉心に金銭を入れて放射化させて求めろという方法を知り、めんどくさいことがわかった。

大変興味深い内容なのでもっと時間をかけてじっくり取り組みたかった。

レポート課題が多かった。

討論会までの時間が短く、十分な議論、準備が出きなかった。また日程が詰まり過ぎていて、他大学の学生と酒をくみ交わす余裕がなかった。せっかくの機会なので、もっと話を聞きたかった。

短期間につめこみすぎ(と感じた)で、理解がまったく追いつけなかったこと。

原子力やりはじめて3ヶ月の人間、特に炉物理に関しては全くの専門外の人間(私)にとっては、何のために何をやらされているのか理解する前に次へ次へと実験が進んでいって苦しかった。でも要所所で楽しいと思えた。

エナジードリンクのニオイが嫌いになった。寝不足で実験をするのが良くなかった。

とにかく時間がほしかったです。

レポートが終わりません。

部屋にムカデが出ました。危ないです。

1日が濃い

これで2単位はひどい。

時間が足りなかったこと。宿舍の冷房がくさかったこと。よくわからないうちにさっさと進んでしまったこと。

過去レポートを所有している学生が効率的にレポートを作成していたこと。

実験期間が長いだけなら問題ないが、レポート課題の量と課題に当てられる時間が全くつり合っていないので困る。

(追)2の”単位がもらえそうなこと”が記載されている意味がよくわからない。

この4日間にそう感じさせるタイミングがいつあったというのか。

とにかくレポートがタイトすぎる。”第〇週”における合計人数が多い。→手があく人がでてきてしまう。

⇒発表前日のレポートがハードすぎて、発表者も聞いている方も頭が回っていない。→日程をもう少し…って感じですが

実験結果をまとめる時間ももっと欲しかった。

実験期間が短い。